



# 現代によみがえる芦屋釜

## 茶の湯釜製作工程

一 釜の形・文様をデザインする

二 外型を造る  
型枠に土を塗りつけ、挽板を回転させ成型する。

三 笠押し  
外型に笠で押しつけて文様をつける。

四 中子（中型）を造る  
なかご

五 鋳型組み立て  
外型に中子を納め、鋳型を組み立てる。

六 吹き（溶解・鋳込み）

砂鉄から取り出された「和銃」を溶かし、鋳型に流し込む。

七 仕上げ

利用料金（団体は20人以上）			
入館料	18歳以上	300円(団体200円)	利用時間 9:30～17:00 (入館・呈茶は) 16:30まで)
	高校生・中学生・小学生	100円(団体50円)	
釜の里・歴史の里共通券	18歳以上	400円	
	高校生・中学生・小学生	150円	
年間入館券	18歳以上	1,100円	
	高校生・中学生・小学生	300円	
呈茶料 (抹茶とお菓子)	18歳以上	400円	
	高校生以下	300円	

大茶室利用料金(時間ごと)			小茶室利用料金(時間ごと)	
10畳	9:00～12:00	3,460円	9:00～12:00	3,260円
	12:00～17:00	4,070円	12:00～17:00	3,870円
	17:00～21:00	3,870円		
全室 (25畳)	9:00～12:00	6,920円	講座室利用料金	
	12:00～17:00	8,140円	1時間あたり 500円	利用時間 9:30～17:00
	17:00～21:00	7,740円		

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けた方は入館料免除(入館時に手帳をご提示下さい)。  
※6歳未満(小学校就学前)の入館は無料となります。



- JR鹿児島本線「遠賀川駅」下車、芦屋タウンバス「芦屋釜の里前」下車、徒歩すぐ  
※バスの本数が少ないので事前に時間をご確認ください。
- JR鹿児島本線「折尾駅」下車、北九州市営バス「山鹿郵便局前」下車、徒歩10分
- 国道3号線「今古賀」の交差点から車で約10分



## 芦屋釜の里

ホームページ Instagram



〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿1558-3  
TEL:093-223-5881 / FAX:093-223-5882

休館日/毎週月曜日(祝日にあたる場合はその翌平日)、年末年始

芦屋釜の里 検索



## 芦屋釜の里



Ashiyagama no Sato



## 芦屋釜

南北朝時代頃から製作がはじまり、室町時代には茶の湯釜の名器として一世を風靡した芦屋釜。その製作は江戸時代初期頃に一度途絶えましたが、芸術性、技術力に対する評価は今なお高く、国指定重要文化財の茶の湯釜9点のうち8点を芦屋釜が占めています。

## Ashiyagama Teakettles

These distinctive teakettles were first manufactured in the Nanbokuchō period, and by the Muromachi period were acclaimed as vessels for the tea ceremony. Their history is generally said to have come to an end in the early Edo period, but they are still held in high esteem for their craftsmanship and artistic beauty. Eight of the nine teakettles designated as important cultural treasures are Ashiyagama.

やすらぎと発見。  
茶の湯のこころと  
懐かしい文化に出会えます。

遠賀川、洞山、そして美しい海岸線。  
恵まれた自然環境を背景に、日本人の心にふれる  
歴史や文化をとり込んだやすらぎの場所です。

魚見公園の一角を占める芦屋釜の里。入口にある外門を潜ると  
枯山水の前庭があり、石畳のアプローチの先にある長屋門を抜け  
ると、季節の花と緑あふれる3000坪の日本庭園が広がっています。  
その中に点在しているのは芦屋釜資料館、いつでも抹茶がいた  
だけの立礼席、芦屋釜復興工房など。茶のこころに親しんでいただ  
けるよう、庭園内に大小の茶室も配しています。  
先人たちが培った文化にふれ、小鳥のさえずりや木々の香りの  
中、やすらぎのひとつときをお楽しみください。

Uomi Park provides the setting for Ashiyagama no Sato. Once you pass  
through the outer gate at the entrance, you will find yourself in a dry  
landscape garden (Karesansui). As you walk through the Nagaya Gate at  
the end of the stone-paved path, your eyes will be greeted with a view of  
the seasonal flowers and greenery of a spacious and enchanting Japanese  
garden. Scattered throughout the garden are the Ashiyagama Museum, the  
Furnished Tea Alcove (where you can always enjoy powdered green tea)  
and the Ashiyagama Studio Foundry. You can also find the Great Teahouse  
and Small Teahouse. These building will allow you to discover the soul of  
the tea ceremony.  
Please visit for a time, and let the songs of the birds, the scent of the trees  
and the culture fostered by our predecessors fill you with enjoyment and  
tranquility.

芦屋釜の里  
芦屋釜はこの地で育まれ茶の湯釜の名品として名を馳せまし  
た。当館は、その歴史にふれ、芦屋釜の復興や茶の湯文化の振興  
をはかるとともに、多くの人々が集うやすらぎの場所となることをめ  
ざしています。

Ashiyagama no Sato  
The Ashiyagama originated in this town and was greatly renowned for its  
excellence as a utensil for the tea ceremony. The aim of Ashiyagama no Sato is to  
preserve its history, promote the revival of the Ashiyagama and tea culture and  
provide a peaceful environment and gathering place.



① 資料館・展示室1  
Museum・Exhibition Room1  
重要文化財指定芦屋釜や古作釜などを展示し  
ています。



② 資料館・展示室2  
Museum・Exhibition Room2  
現代の芦屋釜や茶の湯釜の製作工程などを展  
示しています。



③ 蘆庵(大茶室) Roan(Great Teahouse)  
使い勝手がよく、大寄せの茶会にもご利用いた  
だける25畳の茶室です。



④ 四阿 “Azumaya” gazebo  
まんじいてい  
京都桂離宮の四阿「卍亭」を写した造りです。ご  
休憩にお使いください。



⑤ 吟風亭(小茶室)  
Ginputei(Small Teahouse)  
ろし  
露地もある本格的な4畳半の茶室です。

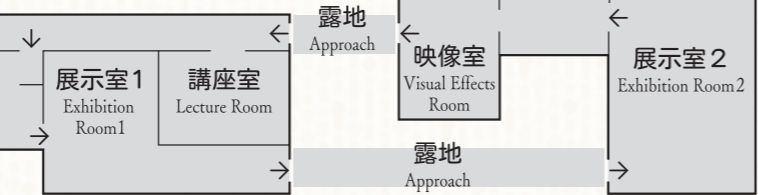


⑥ 工房 Studio Foundry  
現代の芦屋釜が生み出されています。



⑦ 立礼席 Furnished Tea Alcove  
りゅうれいせき  
おいしい抹茶を用意しています。散策のあい間、  
見学の後にご利用ください。

資料館  
①展示室1～②展示室2  
の建物内順路



芦屋釜の里